

H27-28年度 勝浦市地方創生にかかる活動報告

1.勝浦市地方創生にかかる活動報告

2.まちづくりの実施

3.新しい観光の提案

3-1 既存観光地の再生(全域)

3-2 漁村観光(鵜原)

3-3 農村観光(松野・小松野)

4.次年度以降に向けて

2017.3.29

千葉大学園芸学部(勝浦市地方創生プランニングディレクター)

齋藤雪彦



1.活動概略

	2015		2016年			2017年
	4-9月	10-12月	1月-3月	4-6月	7-9月	10-3月
総合戦略	勝浦視察、 総合戦略策定					
まちづくり		事業立上	まちづくり立ち上げ	行動計画作成	・先進地視察、道の駅検討、モニターツアー準備、地図作成	鵜原・松野地区でビックひな祭りイベントの開催
加速化交付金				交付金申請	4千万円獲得 執行検討	
その他						次年度事業の検討、道の駅シンポ、各種報告会
					広報かつうら連載	

2.まちづくりの実施

住民参加がほとんどない地域

→

「勝浦に住民主導型まちづくりを根付かせる」

住民主導型地域づくり支援事業

- ・年間100万円活動費
- ・地縁関連団体に限る
- ・専門家による地域づくり支援

考え方

「地域のことを一から考えてみよう」

「自分たちの手で何かをやってみよう」

・2015年度事業

鵜原区、松野・小松野区

・2016年度事業

鵜原区・松野・小松野区、(大森区)



地域の宝と課題の抽出 (2016.2上、3上)





松野区・小松野区まちづくりプロジェクト

松野ひるす探求

散策場所：せせらぎ水路・ため池周辺
 日 に ち：平成28年2月9日
 チーム名：せせらぎ
 原野雪彦・宮崎和也・尾形仁・磯野哲也・尾初男
 ま と め：整備されていない山、農地、川、池、歩道を活かす。
 ひる、散歩対策？
 山のゾーンを活かす。

ZP倶楽部

松野区・小松野区まちづくりプロジェクト

昭和へのサイクリング！

散策場所：商店街周辺
 日 に ち：平成28年2月9日
 参 加 者：村越美咲・ぼっぼ（市川大樹）
 豊我部希・内田正樹
 佐近 雪・磯野厚史

・道の駅から人を呼び込む
 ・かつての商店街の情緒ある姿を取り戻す。
 （現状：空き家・狭い歩道）
 ・道の駅から商店街、そして神社や寺、温泉へと人々を

松野区・小松野区まちづくりプロジェクト

なつかしさを残す水の郷 松野
 ～ハゲカッパと遊ぼう～

散策場所：神社・寺周辺
 日 に ち：平成28年2月9日
 チーム名：水の郷カッパ隊 戸木理沙・萩原朋之・吉田浩二・磯野典正・原野雪彦
 （ま と め）
 ・川の魅力を取り戻す。
 ・松野市の復活。
 ・土地の活用（田んぼゴルフなど）

・川の人（田） - にぎわい - なつかしさ

西の山班
 山、溜池を活かす（眺め・星空など）

商店街班
 レンタサイクルを整備して
 道の駅から昭和の商店街へ

神社・寺周辺班
 川の魅力をとり戻す
 （川の整備、竹の筏、高低差、棚田の眺め）

理想郷班 じゃんじゃんぽんぽん・クジラの骨など資源
苗代川班 ホタル・サンショウウオ・カワセミ、大名行列、清海小学校
勝場港班 トンネル巡りと空き地活用

[illegible]

町中班 路地体験、空き家をまちづくりの拠点に
理想郷その2班 案内板、道路、樹木、マップ整備
松部港班 お宮、観音様など歴史、トンビなど自然活用、歩道、空き家、空き地整備



第2回 第2回 「地域の宝を輝そう」 18:00~18:30 実演

① スライドで他地区の先進事例を参考にまちづくりのイメージを共有する。

③3座に分かれて、地域を歩き、地域の良さ、課題を写真撮影、メモ書きをしながら話し合う。

④これらの写真を印刷、メモを付箋紙に書き、地域の地図とともに、機造紙に貼っていくながら、再び話し合う。(思いだすコースも、地図上に記録する。)

前回に引き続き千葉大学の齋藤孝教授のアドバイスを受けながら、同大学の加藤づくりを専攻する学生とも一緒に参加。

繼續再同樂！

[illegible]

行ってみて気づいたこと！！



① 徳島小中学校マラソンボーアの拠点に
② メインストリートをカッペー・ウッペー・ハッピーデイで活性化！
③ 自転車探検を楽しく。
④ 四季折々の活用（OGをハッピーデイの拠点に！）

主 演 岸 子、石川 正次、桂 木 洋子、大 島 久江、黒川由美子
中 介 堀 雄二

地域ビジョン策定ワークショップ (2015.3下)



鵜原ビジョン

- ①ほうちよう餅の開発・販促
- ②自然(理想郷)、歴史(大名行列)を共有し、活かす
- ③コミュニティの活性化

鵜原ブランドを創ろう!
～鵜原カバネーの設立～

1. ブランド品の開発・商品化・販売
(ほうちよう餅・金目鯛・鵜原餅等)
2. イベントの企画・実行
(餅業・自然体験等)
3. 場所の確保
(商品販売・飲食・宿泊等)

鵜原理想郷や大名行列などの
自然と歴史を共有しよう!

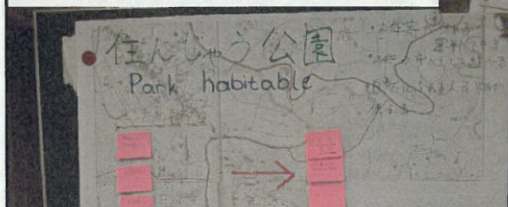
観光班

コミュニティの
地域の活性化へ

3/26(土)

(生活班)の
川辺散策

松野・小松野ビジョン



- ①道の駅を活かし、体験・イベント・散策など観光・交流を推進
- ②山林・竹林・農地など農林業資源を活かした生業の育成
- ③田舎の良さを発信(公園のような所)

地域プロジェクト検討WS(2016.5)



松野・小松野区 今年度事業の内容

- ①道の駅の継続的検討(下図)
- ②道の駅、竹のまちづくり先進地視察
- ③散策マップの検討(下図)
- ④「里あかり」イベントの実施(イベントのバージョンアップ)
11月には自立型へ









- ・4日間で5000人弱の入込客
(5箇所の駐車場溢れる)
- ・100万に迫る売り上げ・寄付

鵜原区

- ①ほうちょう餅の試作
- ②散策マップづくり(2000部印刷)
- ③「まちづくりの家」整備
- ④ひな祭りイベントの実施



ほうちょう餅作り体験
於:至楽荘

2月25日(土)、26日(日)
3月4日(土)、5日(日)
各日20名前後の参加





散策マップを使って、
理想郷ツアー





黄昏の丘、手弱女平の
数箇所に
ひな人形を飾る

まちづくりの家

- ・道行く人への案内、散策マップの提供
- ・お茶、ほうちょう餅でのおもてなし
- ・モニター・アンケートの実施
- ・住民多数がほうちょうもち体験指導、まちづくりの家、道案内、準備・撤収作業に参加



2017年度 検討事項

- ・看板・道しるべづくり
- ・ほうちょう餅商品化
- ・イベントの継続

(漁船体験・磯遊び体験・マリンスポーツ体験)

朝日新聞千葉版、 千葉日報に記事掲載

鴨原山 神野寺
鴨原山 神野寺 (千葉県鴨川市)

鴨原山 神野寺は、鴨川市の鴨原地区にあり、鴨原地区の伝統文化を継承し、鴨原地区の発展に貢献しています。鴨原地区は、鴨川市の中心部にあり、鴨川市の発展に貢献しています。鴨原地区は、鴨川市の中心部にあり、鴨川市の発展に貢献しています。

**「鮑腸餅」作り体験を
鴨川で「幸せ結び付けて」**

鴨川市鴨原地区の伝統文化「鮑腸餅」作り体験を、鴨川市で「幸せ結び付けて」実施します。鮑腸餅は、白と緑の生地を重ねて伸ばし、鮑腸状に切ってゆでれば出来上がりです。

H28.2.22(水) 鴨川市

まちづくりの成果と課題

- ・多くの観光客
- ・地域経済効果
(タンタンメン、フライドポテトなどの販売、まちづくりの家での土産販売)
- 住民の達成感と継続へのやる気
1年間で信じられないほど進んだ

課題

- ・特産品開発と収入確保(鵜原)
- ・自立へ向けた若手の積極的参加(鵜原)
- ・若手への権限一部委譲(松野)
- ・まちづくり疲れを起こさないような工夫
- ・小さな産業・新たな立寄先として定着(イベント→定常化)

3.(改めて)新しい観光の提案 -PDの遺言?-

- ・総合戦略「原案」のバージョンアップ版
- ・まちづくりとの関係
まちづくりの本筋は住環境の向上、住民意思の尊重
→これを前提としながら、
まちづくりの一環としての観光(観光まちづくり)

勝浦市の観光とは

・「便利で楽しい田舎」

→「手軽に通える田舎」、「コンビニや商店街もある田舎」

→「遊びながら東京にも通える田舎」(移住者目線)

(首都圏立地、東京駅まで1時間半・観光インフラが整う)

(豊かな自然、温暖な気候、人情)

・「観光地として成熟・インフラはある」

→成熟しているがゆえに、新しい取り組みが少ない



新しい観光のコンセプト

世界遺産「日光東照宮」はない

既存観光の陳腐化

農村地域の観光は低調

→新しい観光が必要



地域の暮らし・文化を生かす

体験型観光、生活・町並み観光

→住民がおもてなしする着地型観光(観光まちづくり)

3-1.既存観光地としての再生

「古い町並み観光」

①勝浦地区のマップづくり(大学・観光ボランティア)

「商店街・朝市出店者への聞き取り→要望の聞き取り」

②「レトロなまち・勝浦」ツアー実施(観光ボラ、観光まちコンソ)

- ・魚御殿、干物工場、漁船の見学
- ・漁船体験乗船、漁業体験
- ・市場見学ツアー、マグロ解体ショー、魚さばき方教室



未整備・老朽化対策

③「海に見える回廊」整備(市)

中心部から八幡岬公園、灯台、官軍塚へ
カラー舗装と看板設置
ウォーキング・サイクリングルート

④かつらメイクアッププラン(市)

民宿・飲食店に対して改修費助成金
(勝浦風景づくり条例に適合する案件を優先)

観光地のネットワーク化

⑤モデルコースの例示

- ・タンタンメン・まちあるき目的(松野屋→松野散策→鵜原散策)
- ・鴨川からドライブ目的(守屋→鵜原理想郷→海中公園→
めがね岩→串浜海岸→部原海岸)
- ・朝市を目的(朝市→魚御殿→魚市場→灯台→官軍塚→隠れ浜)

3-2. 漁村観光の提案

「鄙(ひな)の漁村と路地のまち うばら」

狭い路地、密集した家々

→昭和の風景・漁村を歩く「漁村観光」

(+理想郷+ほうちょう餅)

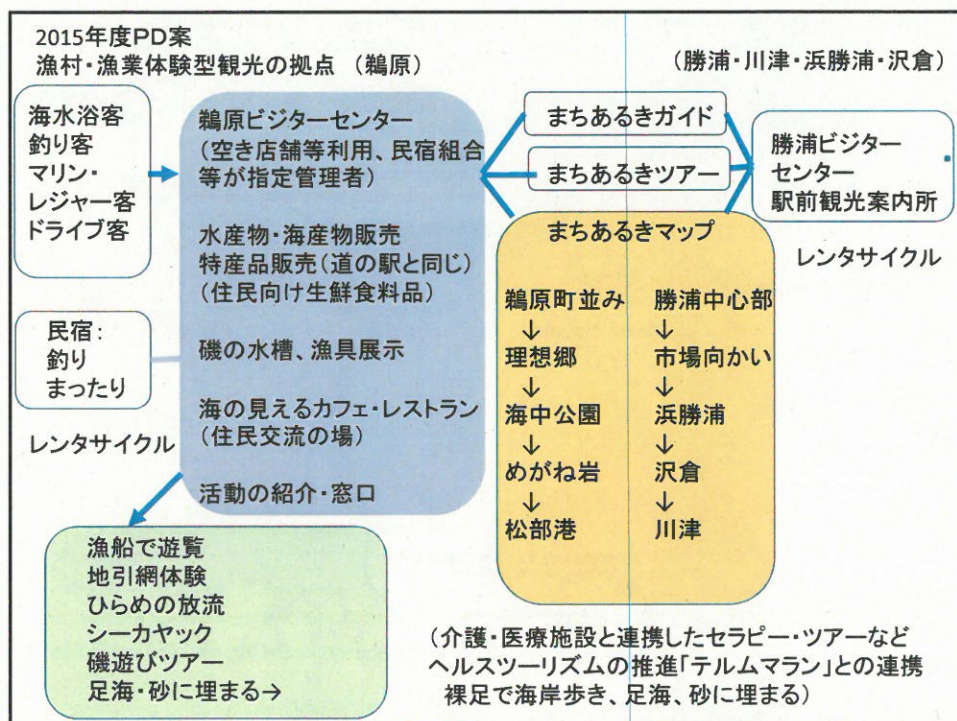


伊根浦
ゆっくり観光
海にもある暮らし、
継承・発展のために
伊根浦の「ええもん」
互いに再発見

伊根町伊根浦伝統的建造物群保存地区
平成27年7月22日指定

伊根浦舟屋群保存会
公式HP

since 2011.10





3-3 農村観光 道の駅「海の幸、山の幸かつうら」

道の駅としての特色

- ①海の幸と山の幸(農産物+海産物)
②着地型観光の交流拠点、農村景観活用型観光

田んぼカフェ+フットパス+竹灯籠の里

(地域住民が参加、農村・農業が体験できる道の駅は少)

土産物販売＜直売所＞農村観光の入口

- ### ③小さな拠点（住民の生活利便施設）

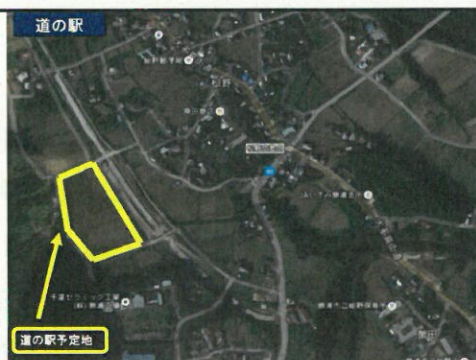


道の駅の内容

目玉となる活動:

i) 海、山の「食」

- ① 海の幸(漬け丼・いけす)
- ② 山の幸(竹の子、山菜など)
- ③ 勝浦たんたんめん



ii) 農村体験(道の駅から周辺地域へ誘導)

- ① 市民農園・(クラインガルテン)
- ② 体験ツアー(タケノコ、枝豆、とうもろこし収穫、チーズづくり)
- ③ 田んぼカフェ
- ④ 田園フットパス
- ⑤ 民泊体験
- ⑥ 田園サイクリング(電動レンタサイクル整備)

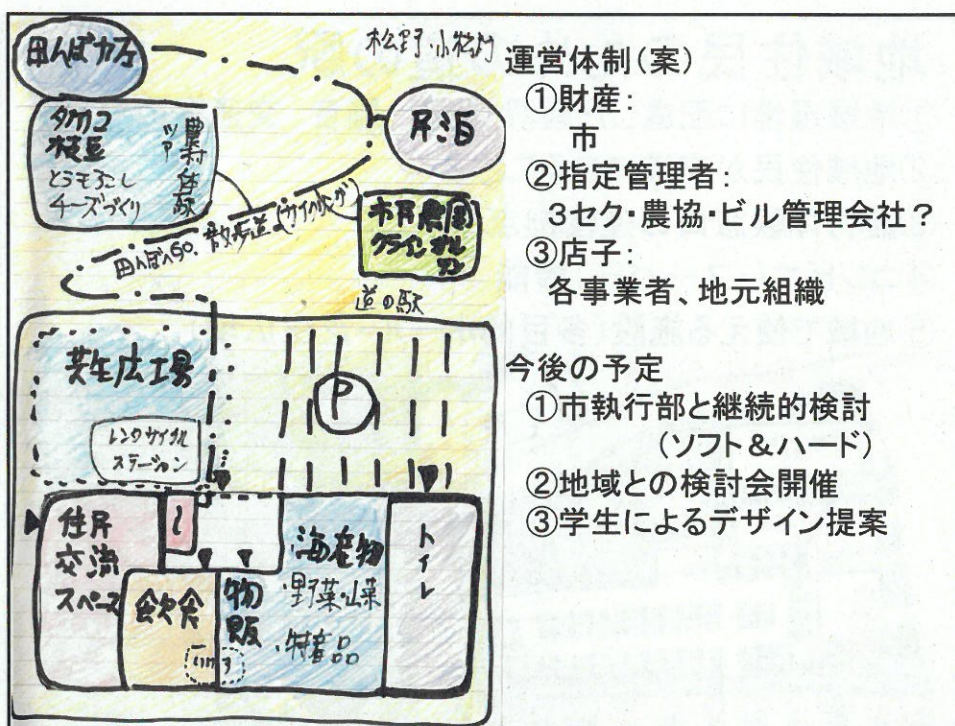
地域住民のための道の駅

- ① 地域環境に配慮した建設(光害、騒音、交通事故など)
- ② 地域住民が交流できること
- ③ 農村体験窓口の運営拠点
- ④ コンビニ(・スーパー)機能
- ⑤ 地域で使える施設(多目的ホール・芝生広場)

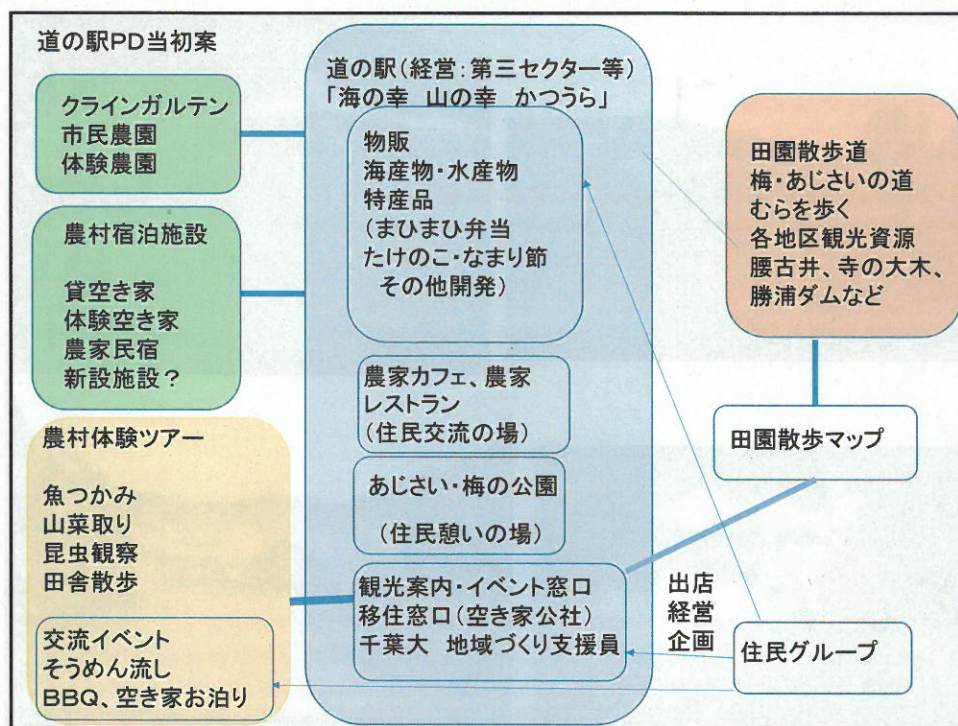


施設の機能

- ①土産物・特産品販売
- ②地元野菜・海産物直売(地元運営?)
- ③飲食・喫茶(海の幸、山の幸)
- ④多目的ホール、芝生広場
- ⑤レンタサイクル・ステーション
- ⑥案内所・農村体験窓口(地元運営?)
- ⑦駐車場、トイレ







4. 次年度以降に向けて

①勝浦八十景づくり

- ・「美しいまち勝浦」を発信
(改めて名所を見つける「例.理想郷・黄昏の丘」)
(新たな隠れ家的名所の発見「例.君津のハートの滝」)
 - ・各区から美しい風景を募集
 - ・住民による風景管理からまちづくりへ
- 準備委員会の立ち上げ(予算化予定)
目標「日本遺産」へ登録(例.佐原、成田、銚子、佐倉の町並み)

②道の駅勉強会(必要な時期を見て)

- ・組織づくり重要<ハード整備
 - ・小さなビジネスから大きなビジネスへ
- 関係者(住民、農家、商工会、市)による勉強会
(外部専門家へ講師依頼)